

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「工事説明書」をよくお読みのうえ取り付け工事をしてください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。
 - ⚠ **警告**……この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 - ⚠ **注意**……この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- 取り付け工事完了後、試運転をおこない異常がないことをご確認ください。また、この「工事説明書」は、「取扱説明書」と共に保管してください。

<p>●屋内の壁コンセントで2口以上になっていても単独で使用する。交流100V15A以上のコンセントを確認する。他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。また延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線をしない。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。</p> <p>●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷ついたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。</p> <p>●可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。万が一ガスが漏れて本製品の周囲にたまること、火災や故障や変色の原因になります。</p> <p>●燃焼・発熱器具の上や周辺など熱気の当たる場所には設置しない。故障や変形のおそれがあります。</p> <p>●電気工事が必要な場合は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。配線等に不備がある場合、火災や漏電や感電の原因になります。</p>	<p>●確実にアースをおこなう。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は、電気工事士の資格が必要です。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。</p> <p>●漏電しゃ断器を取り付ける。漏電しゃ断器が取り付けられていないと、火災や感電の原因になります。お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。</p> <p>●本製品を取り付ける際は、本製品の重量に耐える所に、取り付け工事説明書に従って確実におこなう。取り付けが不完全な場合、火災や感電や水漏れ、本製品の落下によるケガの原因になります。</p> <p>●本製品を取り付ける際は、必ず付属の「標準枠」を使って正しく取り付けを。取り付け枠や取り付け方法に不備があると、本製品の落下によるケガの原因になります。</p> <p>●本製品の移動や再設置をする場合には、標準枠取り付け工事説明書に従って確実におこなう。取り付けが不完全な場合、火災や感電や水漏れ、本製品の落下によるケガの原因になります。</p>
<p>●運転中は、本製品背面にある室外側吸込口・室外側吹出口(排熱)をふさがないように、窓および網戸を開ける。室外側吸込口・室外側吹出口(排熱)をふさいだまま運転すると、故障や窓ガラスの破損の原因になります。室外側吹出口(排熱)が窓や網戸でふさがれていると、排熱が室外側吸込口に回り込み、本製品の保護装置が働き冷風が出なくなります。</p> <p>●水抜きゴムの栓は、連続排水時以外は取りはずさない。水漏れの原因になります。</p> <p>●雨どいの真下はさけ、吹き下しなどにより窓から雨水が浸入しない場所に取り付ける。室内が水で濡れる原因になります。</p>	<p>●次の場所では使わない。燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などとして火災・感電の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> - ガスレンジや石油ストーブに直接風があたる所 - 雨や水しぶきのかかる所 - 油、ほこり、金属粉の多い所 </p> <p>●エアコンから、テレビやラジオなどを1.5m以上離す。映像の乱れや、雑音が入ることがあります。</p> <p>●エアコンの室外側吹出口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所を選ぶ。</p>

注意

●次項「窓の確認」を参照していただき、記載されていない窓の場合には、お買い求めの販売店・工事店にご相談ください。

●プレフィルターの取り出しは、本体の右側からするため、障害物がない場所を選び取り付けをしてください。

取り付け前の確認事項

1 取り付け可能な窓の種類と寸法

窓の種類

- アルミ製の窓
- 木製の窓
- 鉄製の窓

窓の大きさ

標準枠の取り付け窓の高さ 76cm~140cm

縦定枠の取り付け窓の高さ 140cm~192cm

●窓の高さが140cm~192cmの場合は、左図の「縦定枠」TIW-PT6(「テラス戸用取付枠」) (別売)と接続してご使用してください。

●取り付け窓の高さ以上の窓には取り付けをしない。取り付けが不完全となりエアコンの落下により、ケガの原因になります。

2 使用工具(窓によっては、ハンマー、木片、釘が必要です)

- 巻尺(2m)
- プラスドライバー
- はさみ
- カッターナイフ
- ペンチ
- 鉛筆など

3 電源

●電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。

●電源プラグを差し込むときは2~3回抜き差しをおこない、なじませてから完全に差し込んでください。

●電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がからないようにしてください。

●電源コードはステップルなどで固定しないでください。

4 部品の名称と数量

●標準枠

●固定金具

●固定ネジ

●スライドパッキン

●スライド枠

●ジャバラ

●本体固定ネジ

●ロック金具

●固定パッキン

●戸側パッキン(2本)

●窓(ツギン)(2本)

●スキマシール

●戸側パッキン(2本)

●窓ストッパー

●ナベタッピンネジ 6本(φ4×8)

●マルモクネジ 6本(φ4.1×20)

●ナベドリリングネジ 6本(φ4.2×14)

●補助金具(2本)

●ダンツキネジA (φ4×10)2本

5 組付け完成図

窓の右側、左側のどちらにも取り付けすることができます。窓の右側に取り付ける際は、本体の右側に障害物がないことをご確認ください。

窓の開き幅 41cm(本体幅)以上

窓の高さ 76~140cm

●補助金具⑩を使用する場合、取り付け可能な窓の高さは1本では78cm~140cm、2本では80cm~140cmです。

標準枠の取り付け手順

※室内から見て右側取り付けの場合を標準に説明します。左側取り付けの場合は裏面を参照してください。

※左側取り付けにした場合、アルミサッシにあるレールの左角にストッパーがある、枠とサッシの間に隙間ができることがあります。このストッパーは、アルミサッシからはずすことができます。

※取り付け時のネジ締めは確実にこなしてください。振動・落下の原因になります。

※窓の通りによっては、標準枠が取り付けられない場合があります。そのようなときは、付属品の補助金具か木片を利用してください。

1 窓の確認(窓の種類により取り付けかたが変わります。)

アルミ製の窓	木製の窓	鉄製の窓(前枠のない窓)	鉄製の窓(前枠のある窓)
<p>立ち上り寸法 15mm以上の窓</p> <p>取り付けかた1を参照</p> <p>15mm未満の窓</p> <p>取り付けかた3を参照</p>	<p>窓の形状により</p> <p>取り付けかた3を参照</p> <p>または</p> <p>取り付けかた4を参照</p>	<p>幅9mm以上 23mm未満の場合</p> <p>取り付けかた2を参照</p> <p>幅9mm未満の場合</p> <p>取り付けかた1を参照</p>	<p>取り付けかた3を参照</p>

2 標準枠の取り付けかた

取り付けかた1(アルミ製の窓、立ち上がり寸法15mm以上の場合)

標準枠①を窓に取り付けます。

- 1 標準枠①を窓の立ち上りにのせます。
- 2 スライド枠⑥を押し上げます。
- 3 スライド固定ネジ⑩(左右各2本)を締めます。
- 4 標準枠①を柱側に寄せます。
- 5 固定ネジ⑨(上下各2本)を締め、標準枠①を固定します。

取り付けかた2(鉄製の窓、前枠のない窓、幅9mm以上23mm未満の場合)

標準枠①を窓に取り付けます。

- 1 固定金具止めネジ①を取りはずし、固定金具②(上)(下)を逆向きに付けかえます。
- 2 以後は「取り付けかた1」と同じ作業です。「取り付けかた1」を参照してください。

取り付けかた3(付属品の補助金具か木片を利用する場合) ※補助金具や木片の取り付けが終了しましたら、標準枠①を「取り付けかた1」または「取り付けかた2」に従って窓に取り付けてください。

アルミ製の窓	木製の窓	鉄製の窓
<p>補助金具⑩2本を窓の端に寄せて取り付けます。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との隙は「字」をすり込んで防水をしてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との隙は「字」をすり込んで防水をしてください。</p>	<p>補助金具⑩2本を窓の端に寄せて取り付けます。</p> <p>●補助金具は窓の隙間ができる位置に取り付けてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との隙は「字」をすり込んで防水をしてください。</p>	<p>補助金具⑩2本を窓の端に寄せて取り付けます。</p> <p>※下穴(直径3.3~3.5mm)をドリルであけてください。</p> <p>●窓の隙間が不都合な場合は、隙をそろえる。左側取り付けてください。</p> <p>●窓の下側に取付けた補助金具と窓枠との隙は「字」をすり込んで防水をしてください。</p>
<p>木片は本体がはずれない様強固に取り付けてください。</p>	<p>右記寸法より大きい窓の場合木片は必要ありません。</p>	<p>木片は本体がはずれない様強固に取り付けてください。</p>

取り付けかた4(木製の窓の取り付け部が垂直でない場合)

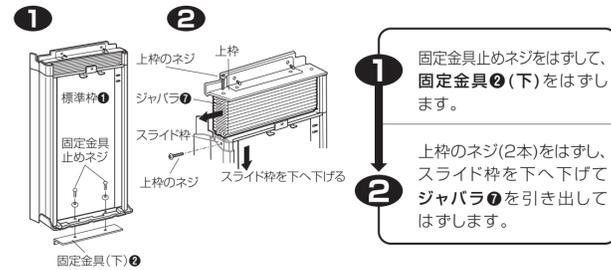
- 1 固定金具止めネジ①を取りはずし、固定金具②(上)の向きをかえ、固定金具②(下)を取りはずします。
- 2 「取り付けかた1」を参照してください。
- 3 マルモクネジ⑩またはナベドリリングネジ⑪で標準枠①を固定します(上下各2本)。下部の取り付けは、マルモクネジ⑩またはナベドリリングネジ⑪に固定金具用ネジから取りはずしたワッシャーをはさみ、固定してください。

エアコンの取り付け

1 標準枠の長さを調節します

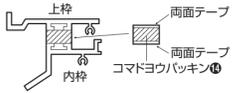
●エアコンを取り付ける窓の高さ(天地)に応じて枠を調節してください。

- 窓の高さが82.5~140cmの場合は、調節する必要がありません。
- 窓の高さが76.0~82.4cmの場合は、標準枠を一度分解し、ジャバラ⑦を取りはずします。

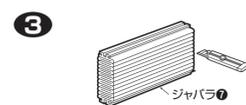


2-1 窓の高さが76.0~77.0cmの場合は、ジャバラ⑦をはずし、コマドヨウパッキン⑩を上枠と内枠の間に貼って調節してください。

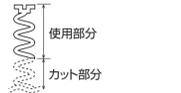
※ジャバラ⑦は使用しません。
※窓枠を窓に取り付けるとき、コマドヨウパッキン⑩を圧縮して窓に入れてください。



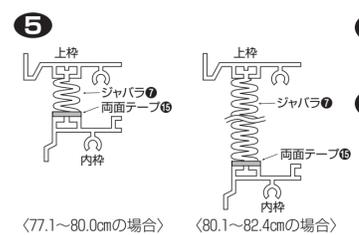
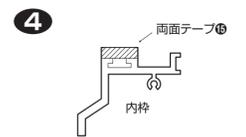
2-2 窓の高さが77.1~82.4cmの場合は、次の手順でジャバラ⑦を窓の高さに応じて、カットしてください。



〈窓の高さが77.1~80.0cmの場合〉
上側3山を残しカットしてください。



〈窓の高さが80.1~82.4cmの場合〉
下側3山をカットしてください。

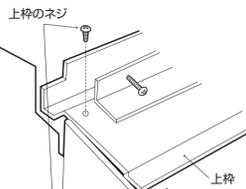


③ 窓枠の取り付け高さに応じてジャバラ⑦をカットします。

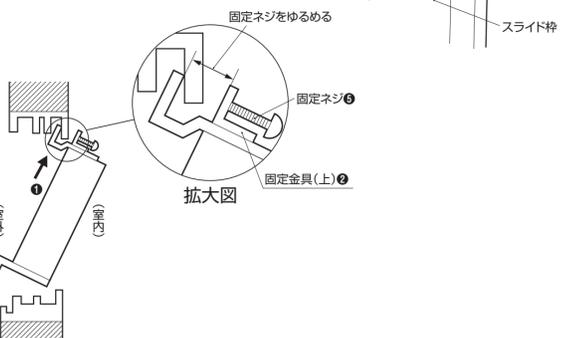
④ 両面テープ⑥を内枠に貼り付けます。

⑤ ③でカットしたジャバラ⑦を上枠に入れて、両面テープ⑥に貼り付けてください。

3 分解した標準枠を組立てます。スライド枠を上へ上げて上枠とネジ止めします。

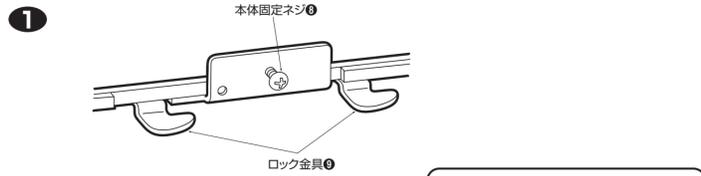


4 固定金具(上)④の固定ネジ⑤を下の拡大図程度までゆるめ、標準枠を下図の手順で窓に据え付けた後、固定金具(下)④を取り付けます。



2 エアコンを取り付けます

※エアコンのイラストは機種により若干異なりますが、取り付け方法はすべて同じです。



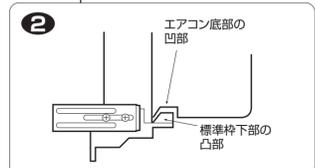
① 標準枠①の本体固定ネジ⑧をプラスドライバーではずします。

② 標準枠①下部の凸部にエアコン底面の凹部を乗せます。

③ エアコン上部を枠に押しあてて、上部にある2箇所の角穴に、ロック金具⑨の凸部を差し込みます。(カチッと音がしてロック金具⑨が左右に動きます。)

④ ロック金具⑨のネジ穴が正しい位置に戻っていることをご確認ください。正しい位置にない場合は、エアコンが完全に固定されていませんので、もう一度取り付けをやり直してください。

警告 ●ロック金具⑨が完全に締まっていることを確認する。エアコンが落下するおそれがあり大変危険です。



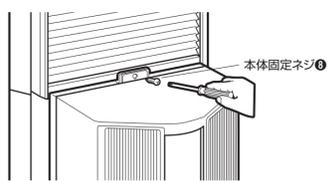
⑤ 本体固定ネジ⑧をプラスドライバーで締めてエアコンとロック金具を固定します。必ず締め付けてください。(ロック金具のはずれを防止します)

⑥ エアコンが完全に固定されているか、必ずご確認ください。

④ ロック金具のネジ穴位置の確認



⑤ エアコンの取り付けが終了



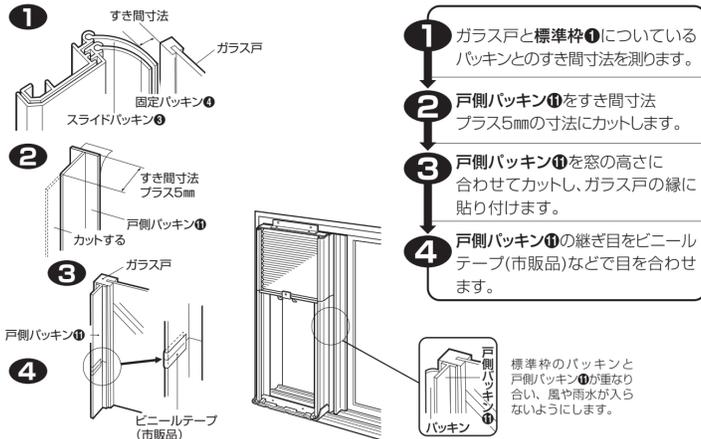
●エアコンを取りはずす場合は逆の手順(⑤→②)でおこなってください。但しロック金具をはずすときは、エアコンを少し押してからロック金具を左へずらすはしてください。

注意 ●エアコンが前倒れになっていないかご確認ください。前倒れになっていると、ドレン水が室内に洩れることがあります。

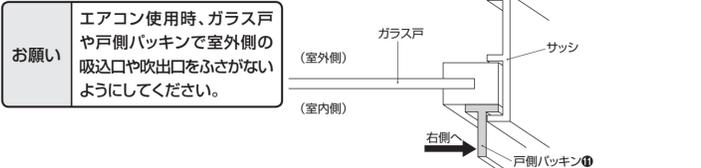
標準枠とガラス戸との間にすき間ができてたり、窓の締まりが悪い場合の処理のしかた

注意 ●標準枠のパッキンやシールは確実におこなう。不確実な場合は、室内に浸水し、家財等を濡らす原因になります。

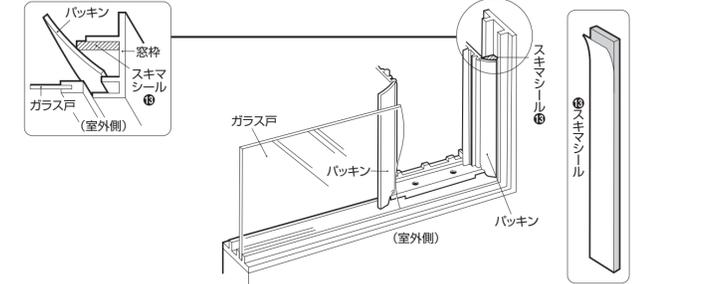
左側取り付けの場合など、標準枠①とガラス戸とのすき間が大きく、標準枠①についているパッキンだけではすき間ができる場合には戸側パッキン⑪をガラス戸の縁に貼り付けてください。(すき間ができない場合には、この作業は必要ありません)



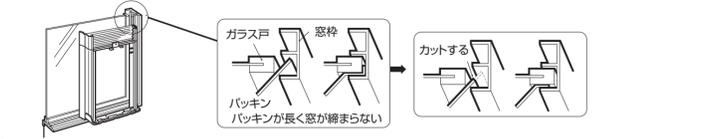
右側取り付けの場合、戸側パッキン⑪はガラス戸が閉まる位置でなるべく右側に貼り付けてください。



窓枠(アルミサッシ等)の種類によって、すき間を生じる場合には、スキマシール⑫を窓枠に貼り付けてください。(すき間ができない場合にはこの作業は必要ありません。)



固定パッキン④・スライドパッキン⑥が長く、窓が締まりにくい(締まらない)場合には、パッキンのシール性を損なわないように注意して、パッキンをカットしてください。



ドレン水の屋内・屋外排水のしかた

〔本製品は通常使用の際は排水不要ですが、湿度の高い場所(80%以上)で長時間使用しドレン水が室外側に滴下する場合、または排水処理のピチャピチャ音などドレン水が気になる場合は、屋内または屋外排水してください。〕

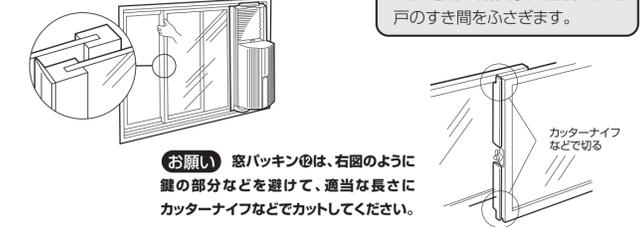
屋内排水の場合



- ドレン水排水口のフタを打ち抜いた場合、再度栓をする時はゴム栓が必要となります。このゴム栓は同梱してません。
 - 時々ホースにゆるみがないかご確認ください。室内をぬらすおそれがあります。
- エアコン底面の前側のドレン排水口のフタをドライバー等で打ち抜きます。
 - 市販のホース(内径10mm)に市販のホースクリップを挿入します。
 - 穴に市販のホースを挿入後ラジオペンチを用い市販のホースクリップで抜けないように固定します。
 - ドレン水を適当な容器で受けてください。

工事の仕上げ

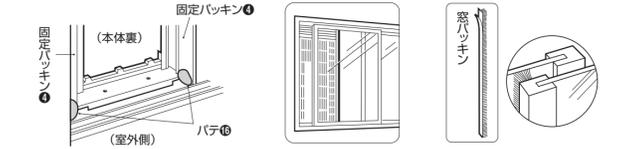
1 窓パッキン⑫を取り付けてください



お願い 窓パッキン⑫は、右図のように鍵の部分などを避けて、適当な長さにカッターナイフなどでカットしてください。

2 すき間にパテ⑬を詰めてください

標準枠と窓のコーナー部のすき間から、雨水が浸入しないようにすき間をパテ⑬で詰めてください。

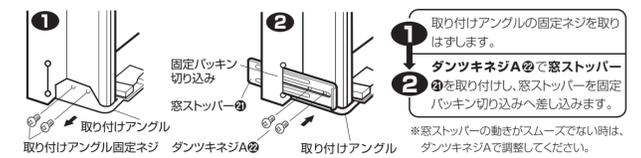


お願い 別売の継定枠(TIW-PT6)を購入したときに、上図の窓パッキンが入っていた場合は、標準枠の窓パッキン⑫で足りない部分に、上図のように窓枠に貼り付け左右の戸と戸のすき間をふさいでください。

窓ストッパーの取り付け・使いかた

1 窓ストッパー⑭の取り付けかた

窓の「右側取り付け(屋内から見て)」の場合は左側に、窓の「左側取り付け」の場合には右側に取り付けます。



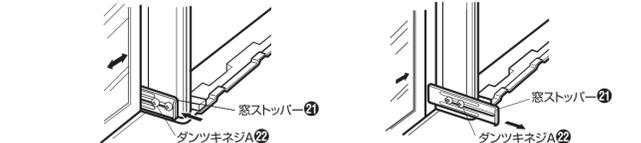
2 窓ストッパー⑭の使いかた

エアコンを運転するとき

- ① 窓を開けてください。
- ② 窓ストッパーを押し出してください。
- ③ 窓を窓ストッパーに当たるまで、ゆっくり閉めてください。

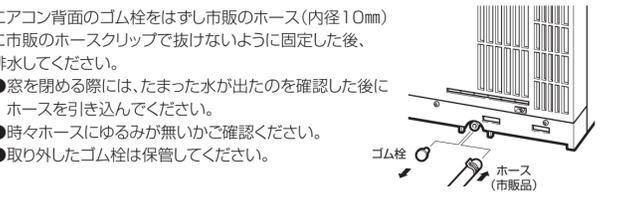
窓を閉めるとき

- ① 運転を停止してください。
- ② 窓ストッパーを引き込んでください。
- ③ 窓を閉めてください。
- ④ 窓本体の鍵をかけてください。



注意 ●水抜きゴム栓は、連続排水時以外は取りはずさない。水漏れの原因になります。

屋外排水の場合



- エアコン背面のゴム栓をはずし市販のホース(内径10mm)に市販のホースクリップで抜けないように固定した後、排水してください。
- 窓を閉める際には、たまった水が出たのを確認した後にホースを引き込んでください。
 - 時々ホースにゆるみがないかご確認ください。
 - 取り外したゴム栓は保管してください。